

[CFロガー／SDロガー]

内部プログラムのアップデート方法

2014年8月27日 株式会社データ・テクノ

2012年5月1日 株式会社データ・テクノ

2009年1月21日 株式会社データ・テクノ

■■■はじめに■■■

このマニュアルは、CFロガー／SDロガーの内部プログラムをアップデートする方法について述べます。CFロガー／SDロガーは、お客様において内部プログラムをアップデートしていただくことが出来ます。内部プログラムのアップデートは、CFロガー／SDロガーをパソコンに接続し、パソコン側専用ソフトを実行して行ないます。

パソコンとの接続には、お客様で接続ケーブルをご用意ください。

内部プログラムをアップデートすることによって、CFロガー／SDロガーの機能を向上させたり、問題点を解消したり、できる可能性があります。

●適応

お客様において内部プログラムをアップデートしていただけるのは、弊社が販売している、つぎに掲げる機種、バージョンのものです。

●CFロガー(旧機種)

機種	DT-CF02, DT-CF02-C, DT-CF02-S, DT-CFK-2, DT-CFK2-C, DT-CFK2-S
バージョン	V024 以降

●CFロガー(XS/XCタイプ)

機種	DT-CF02-XS, DT-CF02-XC, DT-CFK2-XS, DT-CFK2-XC
バージョン	全バージョン

●SDロガー(XS/XCタイプ)

機種	DT-MC02-XS, DT-MC02-XC, DT-MCK2-XS, DT-MCK2-XC, DT-MC03-XS, DT-MC03-XC, DT-MCK3-XS, DT-MCK3-XC
バージョン	全バージョン

●ご利用規定・免責

弊社が提供するアップデートモジュール、パソコン側専用ソフトは、弊社製品適合機種の内部プログラムをアップデートする目的でのみご使用いただけます。その他の目的には、ご使用にならないようお願いいたします。

また、品質には十分な配慮をしておりますが、万が一弊害が発生した場合の責任は負いかねます。内部プログラムのアップデートには、リスクを伴う場合があります。内部プログラムのアップデートは、お客様の責任において行ってください。

■■■概要■■■

内部プログラムをアップデートする手順は、概ねつぎのとおりです。

1. 必要なアップデートモジュールと、パソコン側専用ソフトをご用意ください。
2. CFロガーを、パソコンのシリアルポートと、クロスケーブルで接続してください。
3. CFロガーのディップスイッチを設定し、プログラミングモードにしてください。
4. パソコン側専用ソフトを起動し、実行してください。

■■■アップデートモジュール■■■

つぎに示す適合するアップデートモジュールを用意してください。

つぎに示す表中の、アップデートモジュールの「VXXX」には、それぞれのバージョンがあてはまります。

内部プログラムのアップデートは、種類が一致したアップデートモジュールでないと行なえませんのでご注意ください。

●CFロガー(旧機種)

機種	アップデートモジュール	種類
DT-CF02, DT-CFK2	DTCF02_VXXX_UDM.tfu	自動ログイン版
DT-CF02-C, DT-CFK2-C	DTCF02_C_VXXX_UDM.tfu	コマンド版
DT-CF02-S, DT-CFK2-S	DTCF02_S_VXXX_UDM.tfu	スクリプト版

●CFロガー(XS/XCタイプ)

機種	アップデートモジュール	種類
DT-CF02-XS, DT-CF02-XC, DT-CFK2-XS, DT-CFK2-XC	DTCF02_X_VXXX_UDM.tfu	スクリプト版/コマンド版共通

●SDロガー(XS/XCタイプ)

機種	アップデートモジュール	種類
DT-MC02-XS, DT-MC02-XC, DT-MCK2-XS, DT-MCK2-XC	DTMC02_X_VXXX_UDM.tfu	スクリプト版/コマンド版共通
DT-MC03-XS, DT-MC03-XC, DT-MCK3-XS, DT-MCK3-XC	DTMC03_X_VXXX_UDM.tfu	スクリプト版/コマンド版共通

■■パソコン専用ソフト■■

つぎに示すパソコン側専用ソフトを、ご使用ください。

インストール作業は特に必要ありません、ダウンロードした「DTCFUpdate.exe」を適切なフォルダに置き、実行してください。

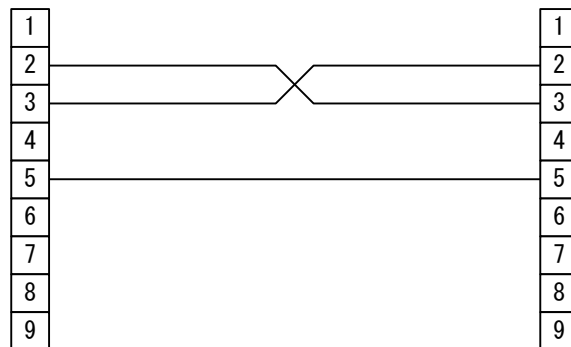
ロガー内部プログラムアップデート専用ソフト	DTCFUpdate.exe
-----------------------	----------------

■■接続■■

CFロガー/SDロガーのD-Sub9ピンコネクタと、パソコンのシリアルポートコネクタを、クロスケーブルで接続してください。

おそらくは市販されている一般的なクロスケーブルが、使用可能だと思います。

つぎに必要な配線を示します。



■■ディップスイッチ設定■■

CFロガー/SDロガーのディップスイッチを設定し、CFロガー/SDロガーをプログラミングモードにしてください。

またCFロガー/SDロガーには、CFカード/SDカードを装着していない状態にしてください。CFカード/SDカードが装着されているとプログラミングモードになりません。

9600bps、8bit、パリティなし、1ストップビットで、プログラムのアップデートを行なうには、つぎのように設定してください。

【自動ログイン版/スクリプト版/スクリプトモードの場合】

ディップスイッチ							
1	2	3	4	5	6	7	8
OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON

【コマンド版／コマンドモードの場合】

ディップスイッチ							
1	2	3	4	5	6	7	8
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON

その他の設定は、取扱説明書を参照して設定してください。

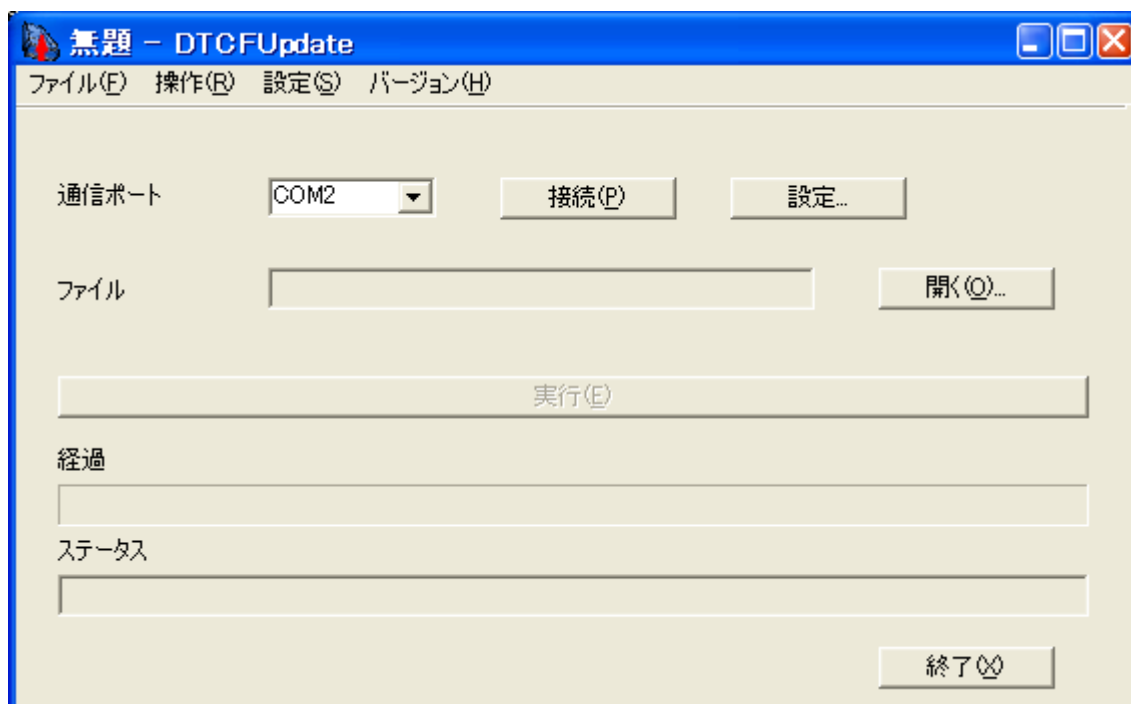
ボーレートが速いと、エラーを起こす場合があります。そのような場合はボーレートを下げて行なってください。

■■書き込み■■

パソコンとの接続、ディップスイッチの設定ができたら、CFロガー／SDロガーからCFカード／SDカードを抜いて電源を入れてください。

CFロガー／SDロガーはこのときプログラミングモードになり、LEDは早い点滅になります。

ロガー内部プログラムアップデート専用ソフト(DTCFUpdate.exe)を起動し、つぎの手順でCFロガー／SDロガーに内部プログラムを書き込んでください。

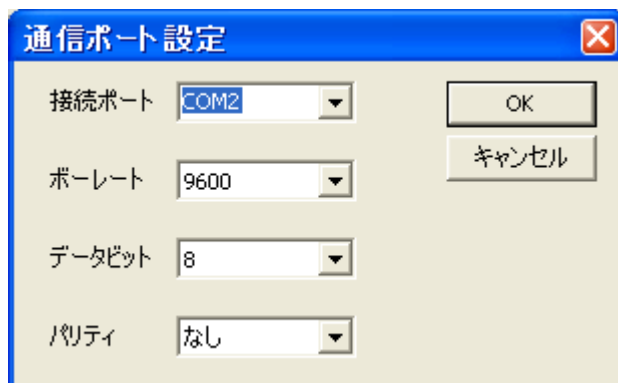


①通信ポートの設定

[設定...]ボタンを押して、または[設定(S)]-[通信ポート(P)...]メニューからつぎのダイアログを出して、通信ポートに関する設定を行なって下さい。

通信ポートが接続されていると、通信ポートの設定は変更できません。

ここで、一度行なった設定は、プログラムを終了しても記憶されています。



②通信ポートの接続

[接続(P)]ボタン、または[操作(R)]-[通信ポート(P) >]-[接続(O)]メニューを押して、通信ポートを接続してください。

通信ポートは、プログラム起動時、接続が試みられます。有効な設定がされている場合は、プログラム起動と同時に通信ポートは接続されています。

③アップデートモジュールの読み込み

[開く(O)...]ボタン、または[ファイル(F)]-[開く]メニューから、ダウンロードしたアップデートモジュールを読み込んでください。

④書き込み

[実行(E)]ボタン、または[操作(R)]-[実行(E) >]-[開始(S)]メニューを押して書き込みを開始してください。

書き込みが開始され、経過欄に進捗が表示されます。

書き込み中、CFロガー本体のLEDは、少し遅い点滅になります。

ステータス欄に「正常終了」が表示されれば終了です。

エラーが発生した場合は、ステータス欄に表示されます。

⑤終了

CFロガー/SDロガーの電源を切り、専用ソフトを終了させ、ケーブルを外してください。

CFロガー/SDロガーのディップスイッチを、通常の状態に戻すのを忘れないでください。

■■そのほか■■

ロガー内部プログラムアップデート専用ソフト(DTCFUpdate.exe)は、レジストリに、「DATATECNO¥DTCFUpdate」というエントリを作成し設定を保存します。

ロガー内部プログラムアップデート専用ソフト(DTCFUpdate.exe)は、Windows 7での動作確認を行なっています。

株式会社データ・テクノ

京都市下京区西七条東御前田町48番地

〒600-8898 TEL:(075)313-3275 FAX:(075)314-0576

<http://www.datatecno.co.jp/>

・本取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。